

令和2年度焼津市民俳句大会 入賞作品

◆市長賞

SLの煙りの匂ふ夕薄暑 平田きよし

◆教育委員会賞

渋る児の背 そつと押す踊の輪 穂山彌生

◆文化連盟会長賞

子らの打つ若潮太鼓翳雲 穂山彌生

◆秀逸 八句

行く先のあてどなき旅野菊咲く 藤賀りつ子
自分史は俳句と決めて梅を干す 祐宗知子
新茶摘むははの手擦れの茶びくかな 水谷富士枝
歳時記を開く文机小鳥来る 平田きよし
あともどきかぬ齢なり夏帽子 増田照恵
友の訃をふわり告げ来し秋の蝶 大橋ふき子
秋蝶のゆらりと交はず瀬の光 藁科康江
コロナ禍に中止口惜し夏祭り 岩崎安次

◆入選 15句

ふる里を眼下見渡す風光る 岩崎三枝子
走り根の熊野古道や滝近し 瀧貴巳子
八月や事なきような青き空 竹島庸子
ふる里に思いを馳せり盆の月 梅原みね子
たんぽぽやテニスコートのラリー音 萩原美智代
秋燈や八雲通りは煌々と 茶楽齊
蟬穴の日々に殖ゆる辺鎮魂碑 高池梓
幼な名で呼ばれ飛び入る盆踊 田中晶代
稲雀雨呼ぶ雲のごと来たる 大石勝男
浜風に星の降るまで端居せり 平田きよし
浜木綿や大洋望む海難碑 竹島庸子
火渡りや邪気を跣足で踏み越へる 岩崎三枝子
虫の音や今宵も楽し音楽祭 斉藤正子
峠道リュックの子等や紅葉晴れ 清水ゆき
向日葵が野武士のごとく育ちをり 梅原みね子